

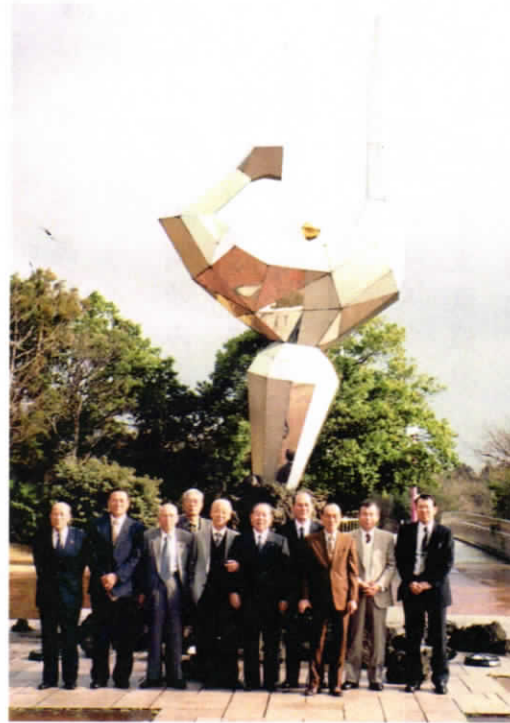
取手市との交流

作左の会の発足当初からゆかりの地との交流は大事な事業の一つです。茨城県取手市は作左衛門の終焉の地として広く知られ、作左の顕彰と町興し活動に取り組んでおり、「頑固賞」は良く知られています。

取手市との交流は、平成十二年三月に役員十名が市役所等を訪問して交流が始まりました。同年八月には取手市埋蔵文化財センター企画展「本多作左衛門重次と子孫たち」への出品要請があり、一筆啓上・作左の会の総会資料等を提出しました。平成十四年三月に取手市の頑固者賞表彰式と創作劇「作左衛門重次」に招待され役員二名が参加しました。

その後、交流らしい取り組みは見られず、中断したままになっています。

取手市を訪問した10名の役員
(平成 12・3・28)



取手市との交流に思う

兵藤 紀之

取手市との交流は平成十四年以降中断したままです。これは、発足当初はお互いに連絡を取り合いましたが、その後連絡を取ることが少なくなりました。お互いが町興しと作左の顕彰が目的ですので機会を見て再開したいものです。

取手市埋蔵文化財センターで開かれた「本多作左衛門重次と子孫たち」の企画展

